

必要な物の未来

恵泉女学園高校

1年

久芳

真央

生きていくのに必要な物とは何？

と聞かれた。多くの人がお金や家族、友人、

衣食住と答える。しかし、私は

電気

と耳かさが答えた。工場の機械を動かしたり

家電製品を使ったり、電動化されたカー

ヤノコギリを使ったりするのにはすべて電気は

つかわれていいるからだ。

家の中で一番電気をつかうのは何か調べて

みると、冷蔵庫、照明、テレビ、エアコンの

順だった。たしかによく使うもので、予想通

りだった。でも、冷蔵庫であれば、上げいな

ものを入れひやしすぎたり、照明やテレビは

つけっぱなしにしたり、エアコンは設定温度

を高めたり低めたりとむだづかいだと思っ

点はたくさんある。

節電は大切なことで取り組まないといけない

いが、同時に身近なもので発電できたりい

なと思う。

例えは、ジムのトレニングマシンでの発電やシャワー室やお風呂場に水が落ちるのを利用してミニ水力発電やスリジウムにある振動による発電など身近な方法があるのではないか。

そして、発電により貯えた電気で将来空を飛べたり、勝手にきれいにゴミをあつめて代表に入れて捨てるロボットのような機械ができて動いたらいいなと思う。これからますます

存在感がますますAIとのコラボを考えてみると節電と発電の両面から電気の世界は広がっていくにちがいない。

人の生活上、電気は必要不可欠でなく、なくてはならないものである。後世にたくさん残し、今が全盛期なのではなく、進行形でありたい。この作文に取り組んでみて、今後の電気のあるりかたやおだにしていく部分などを考えるきっかけにしたい。